

# 目次

- |    |              |    |               |
|----|--------------|----|---------------|
| 1  | キャンパーの運転注意事項 | 11 | トイレ           |
| 2  | 電源について       | 12 | サイドオーニング      |
| 3  | ガスリモートスイッチ   | 13 | ダイネットベッドセティング |
| 4  | 軽油クリーンヒーター   | 14 | ダイネットテーブル     |
| 5  | ガスコンロ        |    |               |
| 6  | 3WAY冷蔵庫      |    |               |
| 7  | 温水ボイラー       |    |               |
| 8  | リアクーラー       |    |               |
| 9  | 外部電源入力       |    |               |
| 10 | エントランスドア     |    |               |

# 1 キャンパーの運転注意事項

1. 走行中はガスの元栓を閉めガス器具の使用は絶対しないで下さい。
2. キャンピングカーは一般の乗用車に比べ重心が高いため走行中のローリング（横揺れ）やピッチング（縦揺れ）が大きくなります。また、車体の表面積が大きい横風の影響を受けやすいので高速走行時などにおいては特に注意して安全運転に心がけて下さい。
3. この車両は一般車両に比べてリアオーバーハング（後車輪から最後部までの寸法）が長くなっています。このため、段差のある場所や急角度ハンドルでの運転について充分注意して運転して下さい。
4. 走行中は、転倒事故防止のため、お子様などが座席に立つことの無いよう、特に注意してください。
5. 走行中は、必ずエントランスドアのロックをして、ドア付近には絶対立たないでください。
6. 車室内には、お子様が操作すると危険な設備があります。お子様がこれらの操作をしないよう充分注意してください。特に、ガス器具を使用する時は危険ですので必ず大人が操作してください。
7. 冷蔵庫は、走行中とキャンプ中、AC100V電源の有無などによって、使用方法が異なります。別紙の説明をよくお読みになってお使い下さい。
8. 車のルーフ部には点検、清掃時のみに、必ずエンジンを止め大人1人で昇降して下さい。滑りやすい上に、人の動きで大きく揺れ転落事故の危険性があります。
9. 車から離れる時は、LPガス、火気等には充分注意して下さい。

## 2 電源について

### 機能

#### 1. オルタネーターによるバッテリーの充電

- ・エンジン動作中はメインバッテリー及びサブバッテリーに車両オルタネーターにより発電された電気が充電されます。  
エンジン停止中はリレー回路によりメインバッテリーとサブバッテリーは切り離されますので各系統は独立回路になります。
- ・走行充電の能力は走行時のバッテリーの使用状況により変化します。  
たとえば、夏の夜間、フロント、リアエアコンの同時作動、ヘッドライト点灯冷蔵庫作動、テレビまたはオーディオなど電気を多く使っている時は、充電が追いつかない場合があります。  
その場合は、なるべく電気を節電して下さい。

#### 2. 外部電源によるバッテリーの充電

- ・AC100Vを入力することによってサブバッテリーを充電することができます。  
オートバッテリーチャージャー(すぐれ者充電器)は最大12Aの能力があり、自動的にサブバッテリーの充電を行いません。

#### 3. キャンパー部の12V電源供給(充電されていない場合)

- ・室内設備を長時間使用しサブバッテリーの電圧が10.5Vまで下がると、サブバッテリー保護のためバッテリープロテクターが作動して自動的に送電を停止します。

### 3 ガスリモートスイッチ

ガスリモートスイッチにより、プロパンボンベ収納庫内のガスリモートバルブが開閉し室内のガス設備が使えるようになります。

#### 使用方法

1. プロパンガスボンベの元栓を左に1回半くらいまわして開けて下さい。
2. ガスリモートスイッチ(下画像)のAを下に押しと黄色ランプが点灯します。次に、Bのスイッチを下に押します。(Bは指を離すと元に戻ります)このときカチッと音がしてプロパンボンベ収納庫のリモートバルブが開き室内のガス設備にガスが供給されます。
3. 万一のガス漏れに備え、ガス器具使用中はガス警報器(サードシート前面)のスイッチをONにします。ONにすると、警報音が約30~40秒鳴り続け、鳴り終わったら準備完了です。

#### 注意

- ・警報器がなりましたら、ガスリモートスイッチを切り、プロパンガスボンベの元栓を閉め、十分な換気を行い、原因が分かるまでガス器具の使用を中止して下さい。
- ・この警報器の電源は、サブバッテリーから直接取っていますのでスイッチを切り忘れないように注意して下さい。



## 4 軽油クリーンヒーター(ベバスト)

### 使用方法

1. ヒーター本体は下駄箱の下に設置してあり、エントランス側にコントロールスイッチ(調節ダイヤル)と吹き出し口があります。
2. 調節ダイヤルを右に回すとスイッチが入り、約30秒で着火し吹き出し口から温風が出てきます。



コントロールスイッチ(調節ダイヤル)

### 注意

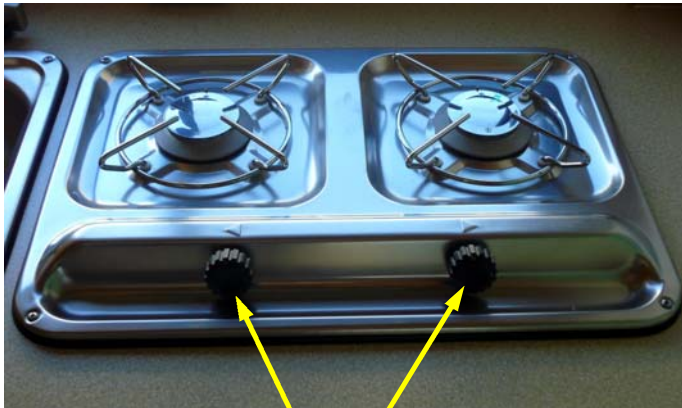
- ・車両下部(エントランスステップの左)に燃焼排気管があり、作動中は高温の排気がでますので使用中に触れたり、ふさいだりしないで下さい。
- ・ヒーターに使用する燃料は車両の燃料タンクから供給されますが、タンク残量が1/3以下になると作動しませんのでご注意ください。
- ・燃料を給油する際には、給油の10分前にヒーターの燃焼を停止して下さい。

## 5 ガスコンロ

このガスコンロは使用中に万一立ち消えしても自動的にガスの供給を止める装置がついています。

### 使用方法

1. LPガスボンベの元栓を左に1回半くらいまわして開けます。
2. ガスリモートスイッチをONしてリモートバルブを開けてください。(項目3参照)
4. 火力ダイヤルを炎のマーク大に合わせ押したままマッチなどで着火して下さい
5. 着火後、火力が安定したらダイヤルをはなし、火力調整をして下さい。
6. 消す場合は、火力ダイヤルを●の位置に戻します。



火力ダイヤル

### 注意

火を使用する場合は、必ず換気をして周りに燃えやすいものが無いことを確かめてから使用して下さい。  
走行中は、安全のため、ガス器具、火気の使用は禁止です。

## 6 冷蔵庫

この冷蔵庫は3WAY冷蔵庫です。熱源はAC100V、DC12V、LPガスと使用環境にあわせ選択できます。熱吸収式はコンプレッサー方式と違い振動、作動音もほとんど無いキャンピングカーには最適な冷蔵庫です。使用中は必ず車両を水平にとめて下さい。

### 消費量

・AC100V時	125W(1.3A)
・DC12V時	120W(10A)
・LPガス時	14.5g/h

12Vスイッチ(赤)

100Vスイッチ(緑)



電子イグナイタースイッチ

ガスコントロールダイヤル



### LPガス使用の場合

1. 冷蔵庫の電源がすべてOFFであることを確認して下さい。
2. LPガスボンベの元栓を開けて下さい。
3. ガスリモートスイッチをONにしてリモートバルブを開けて下さい。(項目4参照)
4. 電子イグナイタースイッチ(オレンジ色)を入れるとパチ、パチとスパーク音が生じ、ランプが点滅します。
5. ガスコントロールダイヤルを押さえたまま、炎マーク(大)にダイヤルを合わせる
6. 電子イグナイターの点滅がとまり、冷蔵庫内の左下部の丸い確認窓で青白い炎が確認できたらガスが着火され正常に運転している状態です。
7. 着火が確認できたら、ガスコントロールダイヤルを放して下さい。
8. ダイヤルで温度調節をします。炎マーク大(強冷)～炎マーク小(弱冷)
9. もし途中で消えても、電子イグナイターが自動的に働き、再び着火し正常運転に戻ります。
10. 運手を止める場合は、ガスコントロールダイヤルを右に回し電子イグナイタースイッチを○側(OFF)にもどして下さい。

### 注意

走行中は、LPガスでの冷却は危険なため、絶対に使用しないで下さい。

## AC100V使用の場合

1. 冷蔵庫の電源がすべてOFFであることを確認してください。
2. 外部電源AC100Vを入力して下さい。
3. プラグマーク(緑色)のスイッチを入れて下さい。(点灯します)
4. 温度調整ダイヤルで温度を設定します。(0=OFF、1=弱冷～7=強冷)
5. 運転を止める場合はスイッチをOに戻して、ダイヤルの数字を0にして下さい。

## DC12V使用の場合

1. 冷蔵庫の電源がすべてOFFであることを確認してください。
2. エンジンを始動させて下さい。
3. バッテリーマーク(赤色)のスイッチを入れます。(点灯します)
4. 温度調整ダイヤルで温度を設定します。(0=OFF、1=弱冷～7=強冷)
5. エンジン停止中は、バッテリー保護のため自動的に通電がカットされ運転を停止します。エンジンを始動すると自動的に運転を再開します。
6. 運転を止める場合はスイッチをOに戻して、ダイヤルの数字を0にして下さい。

## 注 意

- ・この冷蔵庫は家庭用と違い、短時間で食品を冷やす能力が低い為、冷蔵の必要な物はあらかじめ庫内を冷やしてから入れて下さい。また製氷についても、気温により製氷できない場合があります。
- ・冷蔵庫のルーバー部は直射日光から避け、風通しを良くして下さい。
- ・車両は水平にして下さい。



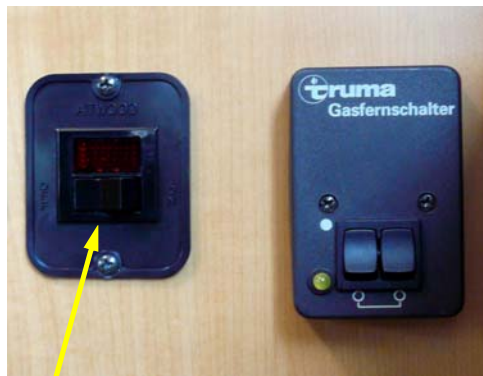
## 7 温水ボイラー

### 使用方法

1. LPガスボンベの元栓を1回半くらいまわして開けます。
2. ガスリモートスイッチをONしてリモートバルブを開けてください。(項目3参照)
3. 水ポンプのスイッチを入れキッチン混合栓からスムーズに水が出ることを確認して下さい。配管内、ボイラータンク内にエアが入っていると水の出が不規則になるので、蛇口を開けたままポンプを回しつつエアを出して下さい。
4. 温水ボイラー着火スイッチをONにして下さい。
5. 自動的に着火してバーナーで温水を作ります。(沸くには、夏期で20分、冬期40分が目安です)
6. 設定温度(約70°C)に達すると自動的に消火します。使用中タンク内の温度が下がると再び自動点火してお湯を沸かします。
7. 使用後は温水ボイラー着火スイッチをOFFにして下さい。



水ポンプスイッチ



温水ボイラースイッチ

### 注意

- ・温水ボイラーの空焚きは絶対しないで下さい。
- ・不着火の場合、不着火表示灯が赤色に点灯します。この場合は一度スイッチをOFFして、もう一度ONして下さい。  
(ガス配管内にエアが混入している可能性があります。ON、OFFを繰り返すことでエアが押し出され正常に着火するようになります。)
- ・外部ボイラーパネルの網目から、熱風が排気されるので燃えやすいものを近づけたり、触ったり、ふさいだりしないで下さい。

## 8 リアクーラー

フロントエアコンに連動して作動します。単独運転は出来ません。

1. クローゼット上部にファンスイッチがあります。風量調節は3段階です。使用していない時は、OFFにします。
2. フロントエアコンのスイッチを入れ作動させて下さい。



ファンスイッチ

### 注意

- ・停車中にアイドリングで長時間エアコンを使用するとエンジンばかりでなく、エアコンシステムがオーバーヒートして冷媒が放出することがあります。

## 9 外部電源入力

電源のあるオートキャンプ場ではAC100Vコードを差込むだけで、室内の100Vコンセント、冷蔵庫、バッテリーチャージャーが使用できます。電力を一度に使いすぎるとブレーカーが下がり、電源供給がストップされます。その場合は、使用している電力を減らしてブレーカー(サードシート下部)を再度入れて下さい。

### 接続方法

1. 入力カバーの蓋を開けます。
2. AC100Vコードの専用プラグ(青色)をカプラーに確実に差込んで下さい。
3. 100Vコードの反対側にある2極のプラグをコンセントに差込んで下さい。
4. 100Vを取ることで室内のACコンセントが使用できるようになり、冷蔵庫も100Vで冷却できます。またサブバッテリーも充電されます。

### 注意

- ・雨天時などは漏電の恐れがあるので、コンセントなど濡れないよう充分注意して下さい。
- ・コードを足などで引っ掛けないように注意して取り回して下さい。
- ・AC100V 10A(約1000W)の許容を超えないように使用して下さい。

ACコードプラグ



ブレーカー(サードシート下部)



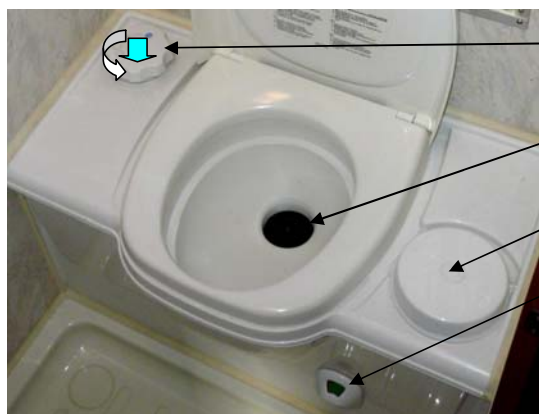
## 11 トイレ

### 使用方法

1. ノブをまわしバルブプレートを開けタンク内の気圧を下げてからバルブプレートを閉じ使用します。
2. ご使用后、ノブをまわしバルブプレートを開け水を流して下さい。
3. 水を流した後、ノブをまわしてバルブプレートを閉めて下さい。

### 注 意

- ・汚物タンクのつまりを防ぐ為、トイレットペーパー以外の紙は使用しないで下さい。
- ・使用しない時は、便器内のバルブプレートを確実に閉めて、汚物や臭いが走行中に逆流しないようにして下さい。
- ・汚物タンクメーターでタンクの容量を確認して下さい。(緑色＝空、赤色＝満タン)



ノブ

バルブプレート

トイレットペーパー入れ

タンクメーター